

# おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物  
 ◇2-3面:AALAカフェ第26回「カジノ問題」◇3面:  
 ロシアのウクライナ侵攻を機会に◇4-5面:ちよこつと  
 春の旅◇6-7面:大阪 AALA 第60回定期総会議  
 案ダイジェスト◇8面:行事案内、文化欄など

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F  
 2022年5月1日 No. 591



2022.4.7 ちよこつと春の旅 牛窓の海 古くから潮待ちの宿として栄える  
 写真：小西庫一 記事4～5ページ

## AALAカフェ 第26回

維新が壊した自治体・くらし  
 カジノ・大型開発で大阪は破たんの危機  
**カジノはあかん！**  
 カジノに反対する大阪連絡会 中山直和

4月10日(日)、AALAカフェ第26回は、「こんな時になんでカジノを」のテーマで、カジノに反対する大阪連絡会の中山直和さんを講師に、大阪AALA事務所で開催されました。紙面の関係で、カジノの問題点を中心に講演概要を報告させていただきます。

### 問題①

### 資料1

## 「住民合意」がない カジノ誘致計画

□ 府民に情報を伝えない  
 「秘密主義」⇓府政だより・市政だよりでの周知なし！

□ IR誘致、地元住民と合意したのか、公聴会では9割反対(朝日新聞が批判)

□ 10000人アンケート調査の結果、このまま議決すべきでない56%

□ 基本協定「まったく説明なし！」



IR施設提案概要(2021年9月)より

夢洲は大阪湾を埋め立てた人工島です。夢洲に行くには、AALA事務所からだ地下鉄中央線に乗って南港のコスモスクエアまで行き、ここから車で海底トンネルをくぐって渡るかなどをするという位置にあります。

### 問題① 住民の合意がない

実際の中身は、昨年の12月23日という年末ぎりぎりに、広報に載せる訳でもなくパブリックコメントを始めると公表されました。住民説明会も1回100人程度でインターネット申し込み。法律上やる必要のある公聴会は4回実施しましたが、手続きだけは進めるが積極的に知らせないという秘密主義で行われています。(資料1)

公聴会では9割の人が反対の意見を出している。また重要な内容である基本協定締結が2月15日ですが、全く説明されていない。説明会の最終日が2月14日なのです。しかも概要をまず一週間後にインターネットで公

※2ページ上段につづく





2022.4.10 AALAカフェ

**問題② 前提条件が崩れた！「カジノには一切税金は使わない」(松井)**

土壌汚染対策790億円の内訳  
 ① 土壌汚染 360億円  
 ② 液状化 410億円  
 ③ 地中埋設物の撤去 20億円

膨らむ夢洲インフラ整備費用	
カジノIR予定地の液状化・土壌汚染対策など	+790億円
万博跡地の液状化・土壌汚染対策など	+788億円
淀川左岸線 土壌汚染対策など	+756億円
万博会場大屋根建設など	+600億円
大阪メトロ延伸の地中埋設物撤去など	+96億円
夢洲駅増強や周辺道路の拡幅	+33億円
夢洲駅の改札前広場や階段の整備	+30億円
<b>合計約</b>	<b>3,100億円</b>

資料② 最初の額  
 夢洲インフラ 1000億円  
 淀川左岸線 1162億円  
 万博会場 1250億円  
 当初額計 3412億円  
 合計 7500億円

さらに+1,000億円

**問題③ 不平等な基本協定**

大阪IR(株)・大阪府・大阪市 22年2月15日に締結 (実施方針では昨年10月頃としていた)

資料③

① コロナ感染で、需要回復が見込めると、  
 ② 国の税法上の扱やカジノ管理委員会規則が、事業者の不利にならないこと。  
 ③ 土地・土壌改良(地盤沈下)、液状化、土壌汚染、残土汚泥処理などの地盤条件に係る事業を含め、**これに限らない**など運営・投資リターンに著しい悪影響が生じるおそれがないこと。から、大阪市が適切な措置を講ずること。

※赤色は790億円含まず！

**問題④ 2%・ギャンブル依存症の発症認める！**

「責任あるゲーミングを行う人が98%ある、約2%の客のサポートにとりくんでいる。」  
 (3月16日大阪市区・MGM代表・エドバースパウワーズ)

資料④

ギャンブル依存症が量産！  
 犯罪・治安悪化、勤労意欲減退に巻き込まれるマイナス効果4.7倍(韓国)

ギャンブル依存症の程度	有病率	人数	計
ハイリスク	約1%	1万人+6万人	7万人(A)
中程度	約3%	3万人+9万人	12万人(B)
低いリスク	約9%	9万人+9万人	18万人(C)
<b>総計</b>		<b>(A)+(B)+(C)</b>	<b>37万人</b>

オーストラリアビクトリア州有病率調査(2014年)より

**資料⑤ カジノのターゲットは日本人しかも、2030年以後、成人する子ども**

「今は客は全員日本人、日本人だけでどれだけ回るか、その前提でプランニングを作っている。10年、20年、何年くらいやれるかと言うこともある」  
 (オリックス 11月4日・決算説明会)

●カジノ事業者の皮算用  
 日本人の入場予測数 1067万人/年から  
 2700億円儲ける(日本人客の負け)  
 vs.大阪IR基本構想(2019年11月) 日本人430万人・1600億円

※1ページ下段からのつづき  
 表するのです。だから住民合意が全くありません。  
**問題② 前提条件が崩れた**  
 「カジノ誘致には一切税金は使いません」と松井市長がずっと言ってきた。しかし、土壌汚染対策費790億円以上をはじめ、いっばい税金を投入するといふことがわかってきて前提条件が崩れています。  
 東京デイズニールランドの場合の液状化対策は業者がやったが、大阪のカジノのことで足元をみられて、「大阪でやってくれ」「わかりました」という結果がこれです。さらに増えざるを得な

いという力関係です。(資料2)  
 もともとの計画額では3412億円だったのが、現時点では7500億円の税金投入ということになりました。  
**問題③ 不平等な「基本協定」**  
 カジノ事業者が決まると、最終的な契約は国の認可がでてからになるが、その前にこういう内容をやりますということ、大阪IR(株)・大阪府と、大阪IR(株)というカジノ事業者と結びます。その内容は、カジノ業者による有利なもの、その内容が一切府民・市民には知らされないような日付で2月15日に締結

した。中身を見るとメトロ延伸費用202億円の支払いも土地引き渡し時に1割だけでよい、残り開業後1年以内ということになっている。途中で何らかの事情で業者が撤退したら払わなくてもよい。(資料3)  
 さらにひどいのがカジノ事業者の「解除権」で、正式契約をすらかどうかの権限は事業者にありますよということだが、「条件」が満たされることが前提ですよというものがある。それは、①コロナ感染で需要回復が見込めること、②国の税法上、現在、外国人がカジノをやって大儲けしたら課税されるが、それを非課税に

することをカジノ業者は求めており、国が税法で認めなければ撤退できる、③土地・土壌改良を大阪市がちゃんとやりますと言わなかったら撤退する、ということもです。夢洲は軟弱地盤からできており、地盤沈下対策の費用が大きくなること  
**問題④ ギャンブル依存症の量産、2%の発症認める**  
 3月16日に大阪市区でカジノ業者・アメリカのMGM代表のエドバースパウワーズ氏を呼んで各党が質問したが、共産党の山中議員の質問に対して、2%のギャンブル依存症の発症を認め、98%が責任あるゲー

ミングを行う人と証言しました。(資料4)  
 カジノ事業者の皮算用では、日本人の入場予測数が年間延べ1067万人で、実数は正確には不明だが2%の20万人の10分の1としても2万人となる(資料5)。もともとの大阪市の出したIR基本構想の日本人の入場者数予測は430万人で2.5倍に膨れ上がり、日本人の負けの皮算用も1600億円から2700億円になっています。これは大阪IR(株)の40%保有のオリックスが株主への説明で「コロナで外国人が来なくても客は全員日本人  
 ※3ページ上段につづく

問題⑤ 無謀で、過大な計画	資料6
<p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;">区域整備計画(2021年12月)</p> <p>◆年間売上 約5,200億円                      ノンゲーミング:約1,000億円(約20%)                      ゲーミング:約4,200億円(約80%) <span style="background-color: #ffcc00;">4900億円</span></p> <p>◆IR区域への来場者数 約2,000万人/年                      国内:約1,400万人/年(約70%)                      国外:約600万人/年(約30%)</p> <p>◆納付金・入場料の取入見込み額 約1,060億円/年                      納付金:約740億円/年、入場料:約320億円/年</p> <p>◆カジノへの日本人の入場者数 約1,067万人/年</p>	<p style="text-align: center; background-color: #e0f0ff;">IR基本構想(2019年12月)</p> <p>◆年間売上 4,800億円                      ノンゲーム:1,000億円                      ゲーム:3,800億円</p> <p>◆IR区域入場者数1,500万人</p> <p>◆納付金・入場料 700億円                      納付金:570億円、入場料130億円</p> <p>◆カジノへの日本人入場者 430万人</p>

※2ページ下段からのつづきでプランニングを作っている」と説明しているのです。依存症対策は万全だと説明していますが、入場回数規制は7日で3回、1回24時間(最大72時間)というもので「入り浸り」可能なものです。

**問題⑤ 無謀で過大な計画**

とにかく根拠なく過大だとしか言えない計画です(資料6)。大阪府・大阪府がコンサル会社の協力を得てIR基本構想を2019年に作ったのですが、その数字も大きかったが、それよりも大きくなり、かつ根拠も示していないというものです。カジノの儲けも他

一 本年(2022年)2月24日、ロシア軍が突然ウクライナに侵攻したとの報道が飛び込んできました。青天の霹靂でした。多くの皆さんも同じ感を持たれたのではないでしょう。私は不勉強でウクライナの南東部での「ドネツク人民共和国」「ルガンスク人民共和国」なるものが「誕生」していたことを知らなかったし、2014年のクリミア半島併合事件の意味を考えたことはありませんでした。又、こ



渡辺和恵弁護士

### ロシアのウクライナ侵攻を機会に AALAに期待すること

渡辺 和恵

国の実例よりも過大になっています。また建設費は1兆5800億円だが、経済波及効果は、近畿と福井県に毎年1兆1400億円になるとの説明です。しかし、カジノはバクチで消費に回るはずの4200億円が消えてし

まうのでこの点からでもたれめとわかるものです。残念ながら、府会・市会で通ってしまつて4月28日までに国に申請するなれです。国の認可だがこんなでたらめな計画で通してはならないとがんばつていきます。

の問題との関係で「今日までの8年間にわたる軍事衝突でウクライナでは民間人を含む死者が1万4000人を数え、国内避難者は約150万人に上るとされており、既に東部ドンバスでは事実上の内戦が始まっていた」ことも前掲5月号掲載の「プーチンによるウクライナ侵略その歴史的背景」(日本ユーラシア協合理事長堀江則雄氏)を読むまでは知りませんでした。ロシアの大統領プーチンが終身大統領の地位を事実上得ていることも単なる報道でしかありませんでした。2021年のノーベル平和賞のロシアの独立系紙「ノーバヤ・ガゼータ」のドミトリー・ムラトフ編集長の受

賞も然りでした。しかし、遅ればせながら、プーチン政権がジャーナリストの真実の報道の自由を奪い、軍事力を伴うロシアの領土拡大を進めてきたことが分かってきました。

二 それでも、ロシアの庶民は、なぜこれまでものごとをする政権を許してきたのか、皆さんも疑問に思われているでしょう。日本でも南京大虐殺を南京陥落だと提灯行列をした戦前の時代とは違うのではないかと思ふのです。この答えを示唆してくれる報道に出会いました。それはNHKBS1で2月21日に報道された「プーチン政権と闘う女性たち」(2021年イギリス発)でした。

反体制派のアレクセイ・ナワリヌイ氏(同氏はプーチン政権の汚職や腐敗を糾弾してきた人物。ドイツからの帰国後2021年1月に拘束され、現在収監されている)が収監され、組織的活動が出来なくなつた中で、女性たちが民主制度である選挙を通じて社会変革を目指す姿を密着取材して報道したものでした。驚きだったのは、単純な例で言えば被選挙権を得るために有権者4000人の賛同名簿が要件になっていることでした。しかも、選挙管理委員会提出名簿を理由もなく不適と判断し、これに対し反論の法的手段がないのです。「心が折れる」と涙にぐれながらも、立ち直つて再度挑戦していく普通の庶民の女性たちの闘いの記録でした。ウクライナ侵攻に対するロシア国内での抗議の反戦デモが起こり、何千人もの市民が拘束されていると報道されています。

三 私たちは「ロシアはウクライナから即時撤退せよ」の種々の抗議活動をしています。当該国内での人権問題は、それが世界的・普遍的であるにもかかわらず「内政干渉」などの壁に阻まれて、真実を知る、闘っている人と交流する方向が弱いあるいは出来ないのではないかと思ひます。

AALAが世界情勢を庶民の視点でリアルに知らせていただくことと、この庶民とどうつながり、励まし合うことが出来るのか、その知恵を示して欲しくて筆を執りました。国内で人権がないところでは、国外に向けて人権外交が出来るはずはありません。





回春寮  
入所してすぐに消毒、検査が行われた



収容棧橋  
付き添いの家族もこの棧橋で別れを



監房跡  
園長に懲戒権が与えられており、  
逃走者などを収監



旧事務本館  
現在は歴史館としてハンセン病や人権を  
学ぶ場として



収容棧橋近くの桜  
桜が満開でした。桜の島にする計画もある



本蓮寺の境内から海を見ると、それは美しい景色であった。彼らはこの海の方に自分の国があるとわかっていて祖国を恋しく思ったに違いない。桜吹雪に見送られ、次の集合場所である唐琴通りに急ぐ。江戸時代から使われている道路と同じ幅だという。その道に沿って並ぶ家の前に春らしい花々が咲き、潮風にゆれていた。「愛生園」で学んだこと、日韓交流のこれからの深く考えさせられた旅であった。

**長島愛生園**  
私たちは、到着と同時に歴史館前から見学をスタートさせた。まず入館して長島愛生園の成り立ちと歩み、入所者を苦しめた「ハンセン病」の原因、そして、社会との偏見や親族との別れなど、学芸員の方から説明を受けた。その方の語りやすげらしかった。そのせいか理解ができたのだと思

「今日本には一人もいません。葉が発明されたからです。」と学芸員の言葉に安堵した。でも、よく聞いてみて、腹が立ってきた。この葉が発明されたのは1943年。戦前である。1948年には日本でも使用が始まったというが、なんと、1998年に「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」が入所者の人々から提起され、2001年熊本

また一行は500人もの大使節団だから地元の人とはどんなにか大変だったろうと想像する。ソウルを発ち、釜山・対馬から大阪までは船旅で、大阪から江戸までは陸路を行くという。友好親善を目的に12回も来ていたそう。枚方にある資料館によると朝鮮通信使の一行が来ると近辺の村々から見物人がどつどとおし寄せ大変な騒ぎだったと記憶されている。しかも象まで行列にいたそう。当時の人々はさぞ驚いたことだろう。また文人が多く参加して、見物人たちにも文字や画を教えたそう。まさに文化交流の極みだったのである。

ここで岡山JU観光の方がガイドとして同行。長島へと向かう。春がすみの海をながめながら進むと白い橋があらわれた。邑久長島大橋である。あつという間に渡ってしまった。この橋はたった22メートルの海峡にかけられているのであるが、重い意味を持つものであった。というの長い間、世間から切り離されて、離島だった長島に暮らす愛生園入所者たちの強い願いでやっとできた橋であったのだ。「人間回復の橋」とよばれている。

園内の当時の施設建物跡など見てまわった。ものすごい良い天気の上に桜が満開で、その美しさに思わず声をあげてしまったが、入所者の方々の苦しみを思う気持ちとの落差に私は戸惑った。ゆるやかなり坂を進んでいくと、その先に邑久光明園納骨堂があった。ここで亡くなってもなお故郷に帰れない多くの人々の遺骨が納められているという。あたりには花が咲いていて、またお供えの花もいっぱいあり、美しい所であった。「どうぞ安らかに眠りください。」と手を合わせた。それにしてもなんでこんなにいっぱい桜の木があるのか。それは奈良の吉野桜を寄付されたものだ

「ハンセン病」を学ぶことで、人権問題として理解を深める子どもたちが多くいることは希望となる。また大人も長島愛生園を訪ねて歴史を学んでほしいと願うものである。

風光明媚な瀬戸内海に浮ぶ長島愛生園と朝鮮通信使ゆかりの牛窓を訪れた。朝7時、大阪駅前集合。全員揃えばすぐ出発というの少しきつい旅立ちではあったけれど、高速道路で岡山までまっしぐら。ここは寝不足を補うべく爆睡をきめこんで、気づけば備前インターチェンジであった。

原告がやつと勝ったのであったのか。ここまでくるのに70年もの年月が流れている(らい予防法1931年制定)。この間の入所者の方々の心身がどれほど傷ついたか、想像にあまりある。園内の当時の施設建物跡など見てまわった。ものすごい良い天気の上に桜が満開で、その美しさに思わず声をあげてしまったが、入所者の方々の苦しみを思う気持ちとの落差に私は戸惑った。ゆるやかなり坂を進んでいくと、その先に邑久光明園納骨堂があった。ここで亡くなってもなお故郷に帰れない多くの人々の遺骨が納められているという。あたりには花が咲いていて、またお供えの花もいっぱいあり、美しい所であった。「どうぞ安らかに眠りください。」と手を合わせた。それにしてもなんでこんなにいっぱい桜の木があるのか。それは奈良の吉野桜を寄付されたものだ

はおけない。現地ガイドの方とここで合流。案内されたのは、朝鮮通信使が接待を受けた本蓮寺。近道をしたので階段をのぼり墓地を横切り。たどりついた本堂は構えもしっかりした造りで、これなら接待所にもなり得たであろう。

ちよこつと春の旅  
岡山・長島愛生園と牛窓  
文 西野 敏恵  
写真 小西 庫一



本蓮寺本堂  
朝鮮通信使の接待所となる



# 大阪AALA第60回定期総会

5月28日(土)開催

## 議案ダイジェスト

大阪AALAは、第60回定期総会を、5月28日(土)午後1時30分から、国労大阪会館で開催します。

詳細な総会議案は総会時に提案されますが、編集部として、議案の骨子を作成しました。

### 活動の基調(骨子)

**1** ロシアのウクライナ軍事侵攻はウクライナの主権と領土をおかす侵略行為であり、「武力による威嚇または武力の行使」を慎むよう求めた国連憲章と国際法に明白に違反するものです。このロシアの行動を強く非難し、ロシア軍に軍事行動を即時停止し、撤退するよう求めます。大国主義と覇権主義を排し、民族自決権と主権を擁護したたかう各国人民と連帯して、ロシアの軍事侵攻を停止させます。

**2** 「核は非人道的で絶対悪」という核兵器禁止条約が発効した今、新たな歴史的国際規範に、依然として背を向けている日本政府の姿勢を正し、条約を批准し非核・非同盟・平和の日本をめざし、国内の平和・民主勢力との団結・連帯を強め奮闘します。

**3** 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会(日本AALA)に結集し、日米安保条約・軍事同盟を廃棄し非同盟日本の実現と、核兵器のない世界に向けて積極的役割を果たしている非同盟諸国民との連帯・交流活動を推進していきます。

**4** 東アジアでの「友好・協力条約」締結をはじめ、「東アジア共同体」づくりをめざす「国際署名」などの

憲・軍事力強化、日米間の「核共有」論、非核三原則の見直し、「敵基地攻撃能力」の保有を声高に叫ぶ勢力に對して、国民世論を背景に阻止します。

**5** 9条改憲を許さず、非核・平和・民主主義を守る活動を進めます。とりわけ国政選挙での市民と野党の共闘を実現させるため、草の根の市民共闘に積極的に参加していきます。

また、住民犠牲のカジノ誘致に邁進する維新府市政にストップをかけるため、

の取組みを通じ、ASEANとその諸国民との交流・連帯を推進していきます。また日本・韓国・北朝鮮の3カ国間の「北東アジア非核兵器地帯」化のため、必要な活動を展開します。

**6** これらの活動を通して、大阪AALAの組織と会員の拡大強化を図り、引き続き機関紙活動の強化と学習会・講演会、文化活動など独自活動と共に、他団体との協力・共同により可能な範囲の多様な取り組みを紹介し、会員のより多くの希望に添えていくことを通じて会員の定着化を図ります。

保守層も含めたオール大阪の共同に参加し活動します。

**7** 情勢に応じた学習会や講演会企画、「AALAカフェ」 「英語で世界を読む会」など対話型学習会の定期開催継続、他団体との共催による「オンライン」学習会・講演会を行います。

**8** 海外ツアーや文化交流活動の企画

**9** 平和・友好団体との連携・交流

**10** ジェンダー問題、日韓問題・慰安婦問題のとりくみ

**11** 情勢にふさわしい活動の取組みを進めるために会員増を重点課題とするとともに、楽しく魅力あるとりくみ、情勢に応えることのできる講演・学習会・文化的つどいなどを企画する

国際友好交流展などへの見学企画や、参加者よびかけもきめ細かく行います。厳しい財政事情克服のため組織強化募金を訴えます。

### 活動計画(課題を中心に)

**1** ロシアのウクライナ軍事侵攻即時停止・撤退、対話による早期平和解決を求め。これに乗じた9条改憲阻止、自公維国の翼賛政治打破の活動こそが最大の国際連帯と位置づける

日本を戦争する国にさせないこと。そのために国民的運動を上げるとともに、AALAならではの役割を發揮できるように活動します。

ミャンマーのクーデターでの民主主義破壊と国軍による人民弾圧など権力による人権抑圧を厳しく批判し、人権と民主主義を求め

### 国連憲章 2条4項 武力不行使原則

All Members shall refrain in their international relations from the threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the Purposes of the United Nations.

すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない。

### 2021年度の

## 活動報告

コロナ禍でも様々な活動を行いました

### 1 憲法改悪阻止、野党共闘

と野党による政権交代実現の活動と国際連帯のとりくみ

- 第7次国際署名「戦争するな!どの国も」は320筆集約しました。
- 「日本政府に核兵器禁止条約批准を求める署名」や「9条改憲NO!」など、全国的に取り組まれる署名は、時にはAALA機関紙とともに全会員に署名用紙を届けるなどしました。
- 平和友好団体との協力共同では、各団体が主催する講演学習会や街頭宣伝などの諸行動にも参加しました。
- 沖縄の米軍基地問題に一貫してとりくむ大阪安保の月例23淀屋橋宣伝に、大阪AALAから毎回参加し、在日米軍基地と地位協定の問題や米軍基地由来のコロナ感染拡大の問題などを訴えました。
- 「カジノに反対する連絡会」主催の京橋駅連絡通路における「カジノあかん」

の宣伝行動などに、大阪AALAからもほぼ毎回参加しました。大阪革新懇主催のカジノ問題学習会への参加や、4月10日(日)のAALAカフェでは「カジノ問題」を取り上げました。

- 日本の「入管法問題」についてのオンライン学習会を3月5日(土)、主催大阪平和委員会・協賛大阪AALAで開催しました。
- ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まった2月24日、間髪を入れず日本AALAの抗議声明がだされたことをきっかけに、2月28日、大阪AALA、大阪平和委員会をはじめ数団体の呼びかけにより豊中市の在大阪ロシア総領事館への抗議行動を実施しました。
- ロシアの無差別・無法の殺戮と都市や街の破壊が明らかにされるにつれ、世界でも日本の各地でも抗議集会・抗議行動が広がっています。
- 3月9日には大阪・中之島公園で昼と夕刻の2回にわたる抗議集会と抗議パレードが行われ参加しました。3月18日には強い風雨の中ででしたが、ロシア総領事館前で2回目の抗議のサイレントスタンディング行

### 2 学習と理論活動を重視

したとりくみ  
○ メディアの報道を追うだけでなく、構造的な変化やそれらの本質をとらえるためにも諸般の「研究成果」を学び、日常的系統的な学習のとりくみに努力してきました。

- AALAカフェ  
参加者は平均7〜8人、多くて13人ですが、共通する参加者の感想は「問題の本質や背景までがリアルに理解できる」「なんでも質問でき、学習会としてリラックasできる空間で、時間もあつという間に過ぎる」などの感想がありました。

### 3 海外ツアーや文化交流

活動  
○ コロナ禍で、海外ツアーはもちろんな国内ツアーも、また文化交流の計画もままならない厳しい状況が続いています。

- 組織拡大  
新会員を増やす課題は、大袈裟ではなく大阪AALAにとって最重要の喫緊の課題です。
- 財政活動  
会員の高齢化に伴う組織減が続いています。また年会費納入率向上も大きな課題です。
- 機関紙・ホームページの改善・充実  
月刊発行している総力ラー版の機関紙ですが、会員とつながる重要な活動と位置付けて、情勢に機敏に 대응する、会員の顔が見える紙面づくりにとりくんでいます。さらなる改善に努めます。

### 京都府知事選挙 ・かじかわ憲さん 争点明確にし 健闘するも及ばず

4月10日投開票の京都府知事選挙で、つなぐ京都2022の候補・京都総評議長のかじかわ憲さんは、「いのちを守りたい。京都を京都らしく、地下水を守り、税金は一円も無駄にはしない。北陸新幹線の延伸は止める。植物園をもうける」など訴え、選挙戦を通じて争点を明確にしました。

結果的に当選とはなりませんでした。かじかわ憲さんの得票は25万1261票、得票率は33.2%でした。なお投票率は37.58%(前回35.17%)の低投票率でした。相手陣営の基礎票を上回るには、低投票率突破も大きなカギといえます。次は、参院選挙での勝利を。

**AALAカフェ開催一覧**

第23回 10月16日(土)  
「ジェンダー平等社会について」  
講師：長尾ゆりさん(AALA会員)

第24回 12月4日(土)  
「食糧問題～コロナ禍・気候変動」  
講師：中西頭治さん(大阪農民連事務局長)

第25回 2月6日(日)  
「観光は平和産業だ」  
講師：尾川理江さん(常任理事・JU観光)

第26回 4月10日(日)  
「こんな時になんでカジノを」  
講師：中山直和さん  
(大阪市をよくする会・事務局長)

手作りりのホームページとして、主に非同盟運動紹介、イベント案内、機関紙掲載を行っています。

投票結果	得票数	得票率	[前回]
当 西脇隆俊	505,651票	66.8%	(55.9%)
梶川 憲	251,261票	33.2%	(44.1%)



# 大阪AALA 第60回定期総会

とき **5月28日(土)**

13:30~16:30(予定)

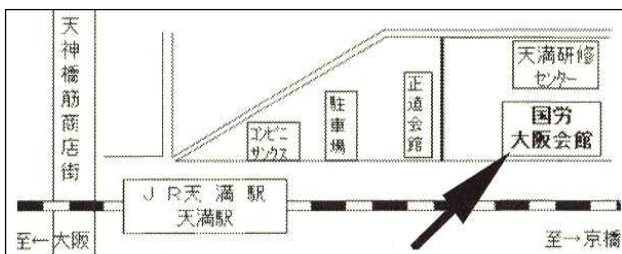
ところ **国労大阪会館 1階ホール**

TEL 06-6354-0661

〒534-0034 大阪市北区錦町 2-2

【最寄駅】JR環状線「天満」駅下車徒歩5分  
地下鉄堺筋線「扇町」駅下車徒歩6分  
阪急・地下鉄谷町線「天神橋筋6丁目」徒歩10分

○同封の総会返信ハガキにご記入上、  
投函をお願いします。



## AALAカフェ第27回

- テーマ：2022年アメリカ報告  
「フィラデルフィアのたたかう壁画たち」
- お話し：安井倫子さん  
(英語で世界を読む会、大阪AALA常任理事)
- ◇とき：5月15日(日)13:30-15:30
- ◇ところ：大阪AALA事務所  
(JR・地下鉄「玉造駅」下車すぐ)
- ◇参加費：500円(コーヒー、菓子、資料代)
- \*マスク着用をお願いします
- \*参加は大阪AALAまで事前連絡を

- ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵略を受けて  
**今こそ、国連憲章と憲法を生かした  
平和外交を**5月22日(日)13:30-16:00
- ◇たかつガーデン8F(上本町)及びオンライン
  - ◇パネリスト川田忠明(日本平和委員会)、木戸衛一  
(大阪大学大学院教授)、樋川和子(大阪女学院大学教授)
  - ◇コーディネーター：桜田照雄(阪南大学教授)
  - 主催：大阪革新懇&大阪平和委員会
  - ※参加協力費500円。参加申込は5月から  
大阪革新懇ホームページで受け付けます。



絵手紙 津村よしえ

政党助成金廃止法案春よ来い  
朝夕8個医院の薬香疾風  
銃構え米軍訓練春の闇  
大阪市福島区 生駒 清

俳句

大阪府四條畷市 西川 寛  
自民党政策論議料亭で  
マリオポリ犬も空見て何処逃げよ  
キーウでは大人になれず死が子らを  
岸田内閣模様替えても安倍力ラー  
プーチンは世界大戦天秤に  
ミャンマーの軍事独裁忘れるな  
大阪市旭区 近藤 正

川柳



大阪AALA  
へのお誘い

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円  
\*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金をお願いします。  
\*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



発 行	大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA) Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee	機関紙・宣伝委員会
	〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361 E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.cocacn.jp/	QRコード